

**授業概要**

英語科教育法Ⅰでの既習事項を土台にして、指導案を作成し、模擬授業を行いながら理論と実践の接点を見出していくことが中心となります。日英語を問わず、関連の論文も読みます。原則的に授業は英語で行いますので、そのための家庭学習が必須となります。しかし文献と課題を指定しますので、それらで準備してから受講すれば心配には及びません。英語のプロを目指すのですから人の何倍も学ぶことは当たり前です。個別に丁寧に指導することで支援していきます。

**授業計画**

第1回	夏期課題の発表 (Presentation in English)
第2回	日本人英語学習者に関する論文 (Reading research papers in Japanese)
第3回	日本人英語学習者に関する論文 (Reading research papers in Japanese)
第4回	日本人英語学習者に関する論文 (Reading research papers in Japanese)
第5回	指導案作成 (Writing a teaching plan)
第6回	指導案作成 (Writing a teaching plan)
第7回	模擬授業(Mocking class)
第8回	模擬授業(Mocking class)
第9回	英語学習に関する英語論文 (Reading research papers in English)
第10回	英語学習に関する英語論文 (Reading research papers in English)
第11回	英語学習に関する英語論文 (Reading research papers in English)
第12回	模擬授業(Mocking class)
第13回	模擬授業(Mocking class)
第14回	英語による口頭試問 (Interview in English)
第15回	定期試験(Final Exam)

**履修上の注意**

reading assignment を授業前に読んできたことを前提として授業を行います。準備の際に質問等が生じた際は、毎週のオフィス・アワーを活用してください。授業について行けるよう丁寧なフォローを行います。NHK のラジオ講座を教材の1つとして使用しますので、日常的に英語に触れる心構えを持ってください。辞書は必携です。

**評価方法**

模擬授業、口頭発表、定期試験を中心に評価します。自ら発言、質問する積極的な受講意欲を高く評価します。

**テキスト**

必要に応じて適宜配布しますので、購入の必要はありません。参考文献としては月刊誌『英語教育』(大修館書店)を薦めます。